

成功するCR修復

林氏が術式、材料、器具などを解説

9月度生涯
研修講座



CR充填の成功のポイントについて語る林美加子氏(9月27日、M&Dホール)

臨床・学術部は生涯研修講座「成功するコンポジットレジン修復」理論からテクニック及び機材選択のヒントまで」を9月27日、M&Dホールで開いた。講師は林美加子氏(大阪大学大学院歯科研究科口腔分子感染制御学講座教授)が務めた。115人が参加した。

ここ10年でCR充填の材料、器具類は飛躍的な進歩を遂げた。我われの臨床に欠かせないものとなっている。講演は、CR充填について、窩洞形成、充填、研磨について術式、材料の特性、器具の使い方、助所について動画を交えて解説した。

窩洞形成では、軟化牙質の硬さを目安によく切れる小さなエキスカバーターを用いて除去し、取りすぎないように注意する事が大切である。充填材も、新しい「液性ボンディング」が多数開発され、信頼性が向上した。充填材は、フロータイプ

もナノテクノロジーがフイラーに導入され、耐摩耗性強度と共に向上、審美性、咬合にも十分に耐えるようになった。

しかし、咬合に関わる大きな窩洞では白歯用CRを用いるのが無難である。材料も便利な器具もたくさん出てきている。うまく使うことによって容易に隣接面、歯頸部の修復が出来るようになった。研磨もFバーを多用することで快適に修復をおこなうことができる。

CR充填の成功の鍵は科学的な理論に基づく的確な術式及び材料の選択と優秀な機材である。これらを症例に心掛けてうまく使いこなす日常臨床のCR充填に楽しんで取り組んでほしいと話した。(高石市・兵頭正道)

摂食・嚥下講習に115人

大阪市東部地区、同北部地区



摂食・嚥下障害の診断・治療法を解説する原玄氏(4日、大阪市)

大阪市東部地区と同北部地区は、戸原玄氏(東京医科歯科大学准教授)を講師に「摂食・嚥下障害の評価と訓練の実践」を4日、シテイプラザ大阪(大阪市中央区)で開いた。歯科医師・医師・歯科衛生士ら115人が、摂食嚥下のみならず臨床に即した在宅高齢患者の歯科診療全般にわたって学んだ。

戸原氏は、在宅に戻った要介護者に対しては、従来のヘルスプロモーションと通常の治療だけでなく、リハビリ的な考え方が必要であると述べた。その際に元々の生活がどうだったかを念頭に

入れておくことが大切だと指摘し、具体的な診断や治療方法を示された。例えば、臭覚の低下がアロウの効用は、内視鏡を用いた実技を交えて説明された。患者の様子のつかみ方が最も重要で、そのポイントを紹介。地域包括ケアがスタートする折、歯科が地域とどう関わるかを広い視野でアプローチしていくことを説かれた。

当日は、嚥下観察を鼻咽喉ファイバースコープとエアスコープで行い、参加者の関心は非常に高かった。再度の講習を望む声も多かった。(生野区・戸井逸美)

循環器疾患と歯科領域

大阪市南部地区

大阪市南部地区は「循環器疾患と歯科領域の関わり」というテーマで9月26日、保険医会館で講習会を開き、55人が参加した。講師は、関西電力病院循環器内科心臓血管治療部部長の浅田聡氏が務めた。

浅田氏は始めに、最近では動脈硬化は炎症疾患と認識され、歯周病原細菌が動脈硬化を悪化させるリスクファクターの1因になっていると述べた。心臓弁膜症、人工弁置換術後の患者はリスクファクターを有するもので、早期の歯周治療、口腔ケア、前投薬などの注

意が必要になってくると説明された。

出血については、ワーファリンなどの抗凝固薬、アスピリンなどの抗血小板薬を内服している患者が増加しているなかで、歯科治療において基本的には継続内服が望ましいとしたうえで、ガイドラインを示しながら、投薬を中止せざるを得ない場合のリスクや留意点などを解説した。また、最近使用されつつある新規の抗凝固薬(NOAC)の比較も紹介し、抜歯時の注意点などについても触れられた。

高齢者の有病者に対する歯科治療が増えるなかで、さまざまな学会のホームページやガイドライン、薬剤情報を常に知っておく必要があると感じた講習会であった。(住之江区・吉田裕志)

春夏秋冬

ダブル選挙

大阪府知事・大阪市長ダブル選挙(11月22日投票)が迫っている。今回の選挙で求められるのは、維新政治にヒリオドを打つことに尽きる。そして、府民・市民の立場から新しい大阪をつくることのできる候補者を選ばなければならない。

2008年から続く維新府政で大阪はどう

府民共同で歴史的選択を

変わったか。府の統計資料は実態を表している。維新府政前の2007年度の府債残高は5兆8288億円だったが、財政は悪化の一途をたどり、今年度には6兆3453億円に達した。府民生活では、雇用者報酬も家計消費も全国平均を超え下落率を記録。地域経済の落ち込みも激しく、府内総生産は07年度に40兆円あったものが直近のデータで3兆8千億円(14年度)にまで減少した。

背景には、大阪湾の埋め立て事業や高速道路建設などの大型公共事業を優先し、府民生活に関わる予算を削減してきた、住民監視の府政運営がある。府の福祉予算は14年度まで7年間で1551億円も削られた。同様の手法が「改革」と称して大阪府でも強行され、大阪の地盤沈下を引き起こしたのである。この間の橋下・松井体制で浮き彫りになっ

たのは、住民の声に耳を傾けない政治姿勢だ。その最たるものが「大阪都」構想を巡る住民投票だろう。市民が悩み抜いて下した大阪府廃止反対の決断を軽々しく扱い、またぞ

で幅広い共同を進めてきた。住民投票を経て、そのつなかりは大きく広がっている。大阪府を守り、住民目標の新しい大阪を目指すには、「維新政治ノ」大阪府つづすな」の

願いで一致するあらゆる政党・団体・住民が立場の違いを超え、力を合わせることを求める。今回の選挙は国政にも大きな影響を及ぼす。安倍政権は橋下氏



循環器疾患患者の歯科治療について説明した講演会(9月26日、保険医会館)

保険でよい歯科署名にご協力を



「保険でよい歯科医療」全国連絡会は、①窓口負担の引き下げ②保険給付範囲の拡大——を求める請願署名に取り組んでいます。協会は、来年の診療報酬改定に向け、歯科医療改善を求める多くの国民の声を国会に突きつけようと、会員の先生方の積極的な協力を呼びかけています。ぜひご協力をお願いします。

署名用紙の追加は大阪府歯科保険医協会事務局 (☎06-6568-7731) まで

歯科医院の売買ならさくらハウスへ

売却物件募集
ただいま売り物件が非常に不足しております。内装付き歯科医院を探されている先生方から多数問い合わせがござりますので、売却予定がございましたら是非当社にお任せ頂けるよう御願ひします

賃貸(賃面方面)
200万円
賃料200,000円
配管のみ

摂津市千里が丘
500万円
チェア2台 1F 開業11年
枚方市 500万円
チェア2台

(有)さくらハウス 大阪府知事免許(05)043403号 担当:平石 大阪市城東区東中浜1-12-15 TEL 06-6170-8880 FAX 06-6170-8980